

## RHYTHM

## 報時付掛置兼用時計 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造  
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

## ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、枠や針などの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

## ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

## ●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。  
Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1409)

## おもな製品仕様

使用環境温湿度	0～40℃、85%RH以下	*結露しないこと
時計機能	クオーツ	
時間精度	平均月差±20秒	温度が5～35℃のとき
電源	単3形アルカリ乾電池 LR6 1.5V	1個
電池寿命	約1年	報時17回/日 1回は正時、30分をセット
報時機能	毎正時、30分に鳴る	
報時精度	毎正時に対して±1分以内	
報時音	ふいご式	
自動鳴り止め	明暗センサーに連動して暗くなると停止	
音量調節	なし	
防水防塵機能	なし	

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 クッションゴム 4個、木ねじ 1個、電池 1個、  
取扱説明書 本書、保証書 1枚

## お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号  
(型番)をお伝えください。例 4MH000

(フリーダイヤル)  
お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。  
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

Ⓛは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

**警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

**注意** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**禁止** 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

**禁止** 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

- 電池から漏れた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 液漏れしたときは、電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

## 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

## 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手の届かない所に置く。

**注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

**禁止** 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびや故障の原因になります。

**禁止** ぬれた手でさわらない  
さびや故障の原因になります。

**分解禁止** 分解や改造をしない  
故障の原因になります。

**注意** 落としたり、たたいたりして衝撃を与えない  
必ず守る 故障や破損の原因になります。

**禁止** 下記のような場所では使わないでください。  
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+40℃以上の所。
- 温度が0℃以下の所。
- 暖房機器からの風が直接当たる所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プールや温泉場など、ガスの発生する所。
- 調理場など、多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは電池と本体を分別してください。

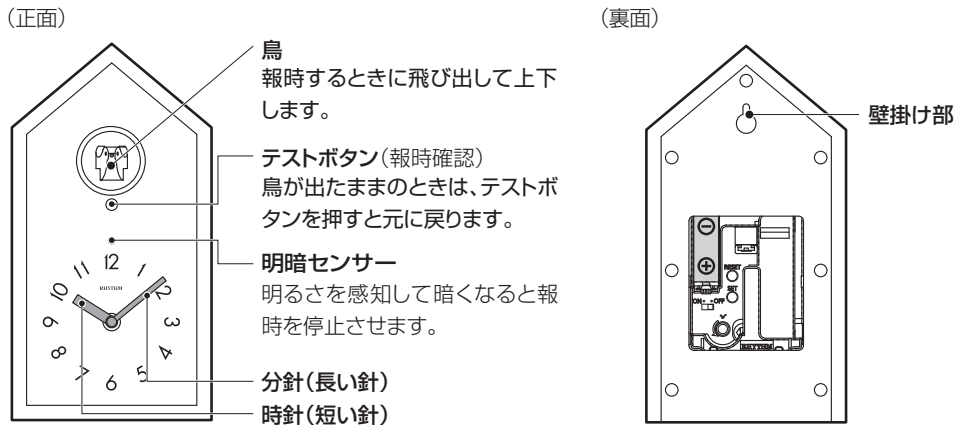
## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けの壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

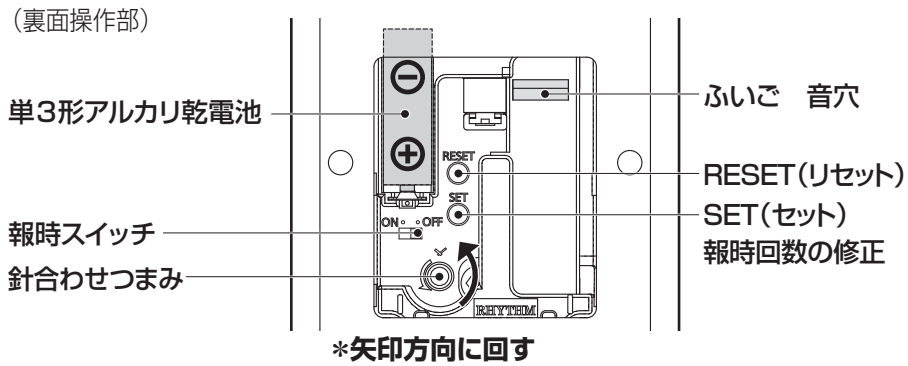
## 各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

**注意** 時計、分針、鳥に触れない  
禁止 時間違い、破損、故障の原因になります。



※時計正面に、針などを保護する透明カバーが付いているときは、取り外してください。



## 報時機能について

### 報時スイッチの設定

**ON** 毎正時：時刻に対応した数だけ鳴ります。 毎30分：1回鳴ります。  
※ 明暗センサーにより暗い所では鳴りません。

**OFF** 鳴りません。

### 30分の報時について

○針合わせつまみを回して30分に合わせても鳴りません。

○針合わせつまみを回した場合、30分の報時が表示時刻とずれて鳴ることがあります。時間が経過して、一度正時の報時をすれば正常に戻ります。

### 報時の音量について

音量は調節できません。

### 報時の確認と修正 …… テスト、SET(セット) ボタン

テストボタンを押すと表示時刻に対応した数だけ鳴ります。たとえば、10時9分を指しているときは10回鳴ります。

**報時回数が正しくないときには、SET(セット) ボタンで報時回数を修正するか、「1. 電池を入れて時刻を合わせる」に従って時刻を合わせ直してください。**

### SET ボタンで報時回数を修正するとき

- SET ボタンを1回押すと報時回数が1回増えます。
- 報時回数が12回のときに押すと1回に戻ります。

## 明暗センサーについて …… 暗くなると報時停止

暗くなると、明暗センサーが反応して報時を停止させます。

昼間や夜間照明されているときでも、明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

## 電池の交換について

**注意** 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、すぐに新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。

※電池は、報時を使用しないと長持ちしますが、液漏れが発生しやすくなりますので、定期的に交換してください。



### 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

## 1. 電池を入れて時刻を合わせる

正しく報時させるために、必ず手順に従ってください。

① 針合わせつまみを矢印方向に回して、5時50分に合わせる

② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

電池を入れると報時を始めます。

③ RESET(リセット) を押す

○誤作動を防ぐために、電池を入れた後は必ず押してください。

○報時している途中でも RESET を押すことができます。

○RESET を押すと「5時」の報時にセットされます。

④ 針合わせつまみを必ず矢印方向に回して現在時刻に合わせる

○時刻の進み遅れを修正するときに、針合わせつまみを矢印と反対方向に回すと表示時刻と報時がずれることがあります。

○報時している途中でも針合わせつまみを回すことができます。

⑤ 報時スイッチを設定する

**ON** : 報時する **OFF** : 報時しない

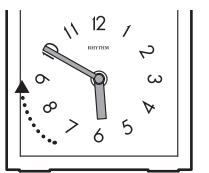
### 設定をしているときの報時について

※電池を入れた直後やRESETを押した後に5回鳴ります。

※暗い所では、②～④の操作をしても報時をしません。

※報時スイッチがOFFのときは④では報時をしません。

※報時回数は、分針が12時位置(0分)を通過するたびに1回増えます。針が反時計回りで通過しても増えますので、時刻を合わせるときには、必ず時計回りに針を回してください。



針合わせつまみ

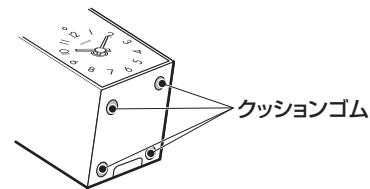


## 2. 設置について

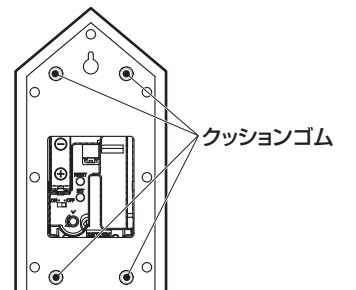
○傾けた状態で報時させると正常に鳴らないことがあります。

○置いてご使用になるときには底部、掛けてご使用になるときは裏面の4カ所に付属のクッションゴムを貼ってください。

### 置いて使うとき



### 掛けて使うとき



## 置いて使用するとき

○転倒や落下を防ぐため、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

## 掛けて使用するとき

**注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

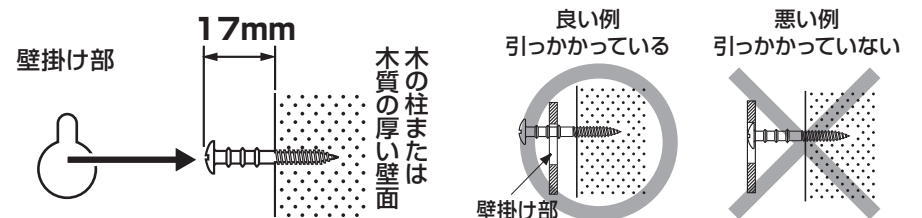
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

○掛け部以外に掛けないでください。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

● 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

● 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



## その他の壁面の場合

● 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## 故障かな?

### 症状

報時の動きや音がゆっく

報時音に違いがある。

報時のときにふいご以外

### 原因と処置

電池の電圧が低下すると動きが遅くなり、音色に影響を与えます。電池を交換してください。

音源のふいごの和紙部分は手作りなため、音色には個体差があります。

鳥やふいごを動かす機構の音です。故障ではありません。